

Crescendo

2023.10
vol.153

M E D I K I T A R T S C E N T E R くれっしえんど

プロジェクト

のまど in 都井岬

馬がいて、人がいて、
そしてまた馬がいる

αvαc
Toi

馬と人間が暮らす都井岬を舞台に、
三人のアーティストが独自の視点で
作品を制作するアートプロジェクト。
それぞれの体験が重なり合うことで、
都井岬での暮らしや文化を捉え直した
2日間のアートプロジェクトをお届けしました。



メディキット 県民文化センター 広報誌
MEDIKIT ARTS CENTER



古澤 巖(ヴァイオリン)



山本 耕史(語り・歌)



塩谷 哲(音楽監督・ピアノ)



小沼ようすけ(ギター)



大儀見 元(パーカッション)



井上陽介(ベース)

古澤 巖×山本耕史 コンサートツアー

DANDYISM BANQUETⅡ

ダンディズムバンケット2

2023年1月に延岡で好評のうちに幕を降ろした古澤巖×山本耕史コンサート「DANDYISM BANQUET」。ヴァイオリニスト・古澤巖をはじめとした凄腕ミュージシャンと俳優・山本耕史が出会い、究極の美意識を求め表現するこのコンサートツアーの第2弾を日南市で開催します！

東九州自動車道の清武南IC～日南北郷ICの開通で、これまでよりもグッと近くなった日南市で、大人の色気漂う男たちが贈る、ダンディーなステージをぜひご堪能ください!!

DandyismBanquet とは、音楽とは、いったい何なのか。
「赤と黒」「空と大地」「男と女」「生と死」「涙と笑顔」「正義と悪」・・・
対極の中で生まれる音楽。音楽の対極にあるものは・・・。
感じあい、理解しあい、思いを共有する。究極の愛がそこにある。

言葉と名曲で贈るステージ

山本耕史の身体から発せられる「声」と「演技」、そして、古澤巖をはじめ音楽監督を務める塩谷哲らの確かな技術に裏打ちされた「音」。前回の「DANDYISM BANQUET」第1弾では、シェイクスピアや近松門左衛門ら古今東西の「言葉」とミュージシャン達が奏でる名曲とが絡み合い、まるで物語のページをめくっていくかのような、魅力的で刺激的なステージが繰り広げられました。

チラシに掲載された音楽ジャーナリストで評論家の林田直樹氏の寄稿文によると、第2弾となる今回は、「音楽の対極にある反対物とは何かを考え、問題提起していくメッセージ性の強いものになる」とのこと。前回とはひと味もふた味も違う、新たな魅力の詰まったコンサートになることが期待されます。



Dandyism Banquet tour 2022より

挑戦する表現者たちの 新感覚エンターテインメント

本公演で音楽のメインパートを担うヴァイオリニスト・古澤巖がバンド形式でステージに立つのは、この「DANDYISM BANQUET」のみ。自身のコンサートで宮崎を訪れるだけでなく、毎年夏には日向市でミュージック&サーフキャンプを開催していたりと、古澤と宮崎とは縁の深い関係にあります。1987年に日本初演の『レ・ミゼラブル』で舞台デビューを果たした山本耕史は、実力派俳優としてTVドラマや映画といった映像作品で活躍しながらも、今もコンスタントにミュージカルの舞台に立ち続けています。異なるバックボーンを持ちながらも音楽とステージにかける思いで繋がる古澤と山本のコラボレーションと舞台を支えるミュージシャンとのセッションで生み出される「DANDYISM BANQUET」のステージ。言葉の鍵で音楽の扉を拓き、全国を駆け抜けるダンディーな男達の粋なセンスとグルーブ感あふれるコンサートに、ぜひ足をお運びください。

また、日南公演の2日後には、日向市でも「DANDYISM BANQUETⅡ」が開催されます。これだけの豪華出演者によるコンサートが、県内2か所で連続して開催される機会は、めったにありません。この機会に出



Dandyism Banquet tour 2022より

演者と一緒に関内2会場をツアーして楽しんでみるのもアリかもしれません♪

公演情報

古澤巖×山本耕史コンサート 『DANDYISM BANQUETⅡ』

2024年1月21日(日)
開場15:30 開演16:00

南郷ハートフルセンター 大ホール
宮崎県日南市南郷町中村7051-25

【出演】古澤 巖(ヴァイオリン)
山本 耕史(語り・歌)
塩谷 哲(音楽監督・ピアノ)
小沼 ようすけ(ギター)
大儀見 元(パーカッション)
井上 陽介(ベース)

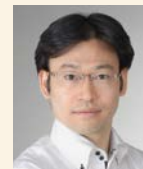
※日向公演:
2024年1月23日(火) 18:30開演
日向市文化交流センター 大ホール
詳細は日向市文化交流センターのHP等でご確認ください

日南市

大塚直哉さんに聞く!

ひなたのバロックの魅力

誰もが知っているヴィヴァルディの『四季』。春夏秋冬の風景をありありと感じさせる親しみやすい旋律と斬新な手法で、かつて世界中でバロック音楽ブームを巻き起こしました。今回は『四季』を古楽器で演奏することで、この曲が生まれた当時聴かれていたであろう音色と雰囲気味わっていただきます。本公演の魅力オルガン事業アドバイザーの大塚直哉さんに伺いました。



大塚 直哉
(企画・監修/チェンパロ)



アントニオ・ヴィヴァルディ

ヴィヴァルディ『四季』が 生まれた当時のフレッシュな魅力を古楽器で。

今回演奏するヴィヴァルディの『四季』は、バロックの中でも数少ない有名曲。特に「春」の最初は音楽の授業でも聴いたことがあると思います。作曲当時はこの曲も現代曲として聴かれていたはず。今回はあえて古楽器で演奏することで、この曲が生まれたばかりのフレッシュな魅力をお伝えします。

夏のハエを古楽器で表現!?

古楽器は擦れる音などの雑音を使いながら、あたかも人間が喋ったり歌ったりするかのように表現するのがひとつの理想とされています。その古楽器で夏の暑さ等を表現すると、本当に「ああ人々が暑さに喘いでいる」と感じるわけです。このほかにも『四季』には、夏のハエや、春の雷の表現があります。ぜひ古楽器のもつ表現力を生で感じていただきたいです。今回はさらに映像を加えてコンサートホールが絵本のようになればと今からワクワクしています。

隠れた名曲『スターバト・マーテル』 —独特の音の世界—

ヴィヴァルディの声楽曲の中には、弦楽曲とはまた違った、しかも他の作曲家にはない独特の音の世界が表現されています。その中でもアルト独唱という珍しい形態を持つ曲が『スターバト・マーテル』です。

九州男児のカウンターテナー・久保法之さん

今回は、アルトパートをカウンターテナーの久保法之さんに歌っていただきます。鹿児島県のご出身で東京藝術大学を卒業された後にフランスで勉強して活躍されていました。強い表現も得意ですが、柔らかく、繊細なニュアンスを歌うことのできる歌手で、ヨーロッパでも高い評価を受けています。現在ではパッハ・コレギウム・ジャパン*などで活躍されています。

今回、久保さんも「出身の鹿児島県に近い宮崎県での演奏が楽しみです」と言ってくれているので、その声を会場で聴いていただきたいですね。

*バロック音楽を専門とする世界最高峰と呼び声の高いバロックオーケストラ&合唱団



久保 法之
(カウンターテナー)

▼ひなたのバロック#3の様子



公演情報

ひなたのバロック#5 ～都城スペシャル公演～

2024年2月23日(金・祝)
開場 13:30 開演 14:00

会場: 都城市ウエルネス交流プラザ ムジカホール

【出演】大塚 直哉(企画・監修/チェンパロ)
桐山 建志、大西 律子、廣海 史帆、池田 梨枝子
(バロック・ヴァイオリン、バロック・ヴィオラ)
西沢 央子(バロック・チェロ)
栗田 涼子(ヴィオローネ)
久保 法之(カウンターテナー)
大平 久美[K Productions](映像)

都城市

メディキット県民文化センター(宮崎県立芸術劇場) 自主事業公演チケット情報

※10月4日時点の情報です。

11月11日(土)
椎葉平家まつり

プロジェクト「の、まど」in 椎葉村
『しいば!おどりば!2023』
椎葉平家まつりスペシャルバージョン
【出演】黒木裕太(構成・演出・振付)、志娥慶香(ピアノ・作曲)、
しいばキッズ・ダンサーズ

鑑賞自由・無料

11月18日(土)
日向市文化交流センター
大ホール
開演 14:00

加藤昌則の「聴かぬなら聴かせてみせよう!クラシック」
日向公演
【出演】加藤昌則(ピアノ・ナビゲーター)、南紫音(ヴァイオリン)
〈全席自由〉 一般:2,000円(1,800円)/U25割:1,000円

チケット発売中

2024年
1月21日(日)
南郷ハートフルセンター
大ホール
開演 16:00

古澤巖×山本耕史コンサートツアー
「DANDYISM BANQUETⅡ」
【出演】古澤 巖(ヴァイオリン)、山本耕史(語り・歌)、
塩谷 哲(音楽監督・ピアノ)、小沼ようすけ(ギター)、
大儀見 元(パーカッション)、井上陽介(ベース)
〈全席指定〉 一般:6,000円(5,400円)/U25割:3,000円

チケット発売中

2月4日(日)
西都市民会館
開演 11:00

おながくのおもちゃ箱シリーズPart.19 クラシック編
おとみつくと音の旅〜ココロおどる世界の音楽
【出演】坂本夏樹(ピアノ)、桜井しおり(ピアノ)、松井くるみ(フルート)、
島津健一(パーカッション)
〈全席自由〉 3歳以下:無料/4歳以上:500円/
なかよしチケット:700円 ※4歳以上2人1組(前売りのみ)

11月12日(日)
一斉発売

2月23日(金・祝)
都城市ウェルネス交流プラザ
ムジカホール
開演 14:00

ひなたのバロック#5 〜都城スペシャル公演〜
【出演】大塚直哉(企画・監修/チェンパロ)、
桐山建志、大西律子、廣海史帆、池田梨枝子
(バロック・ヴァイオリン、バロック・ヴィオラ)、
西沢央子(バロック・チェロ)、栗田涼子(ヴィオローネ)、
久保法之(カウンターテナー)、大平久美[K Productions](映像)
〈全席自由〉 一般:2,000円(1,800円)/U25割:1,000円

会員:11月5日(日)
一般:11月12日(日)
発売開始

【Attention(ご注意)】◎記載情報は変更になる場合があります。◎()内はくれっしえんど倶楽部会員価格です。
◎U25割は鑑賞時25歳以下が対象。その他の割引サービスの詳細は、劇場HPをご覧ください。◎当日券が出る場合
は、一般チケットのみ500円増になります。※一部公演除く ◎託児サービス(有料・事前申込要)がご利用いただけます。
※一部公演除く

旅する劇場

次はこちらへおじゃまします!

劇場は休館中ですが、
県内各地で公演を開催しています。
また、チケットセンターは営業しております。

チケットセンターの営業時間 10時～18時

Report

プロジェクト のまど in 都井岬 avec Toi

——馬がいて、人がいて、そしてまた馬がいる——

風を感じる道具〈かぜよみ〉を手に、丘にのぼり、馬になって風を探すワークショップ「風と馬」。
閉館したビジターセンターに映し出される、時空を超えた夢幻の影絵パフォーマンス「御崎馬の夢」。
人間と自然が連綿と関わり続ける、都井岬を巡る生の営みを、火まつりを軸に追った映像作品「界」。
さらに「都井岬ガイド」「くらやみ展示室ツアー」「アーティスト・トーク」など多彩なプログラムで
都井岬の魅力を再発見しながら、自然と人の関係や文化を見つめなおす時間を共有しました。

公式note
こちらから→

イラストレーション: スズキトモミチ 写真: グンジキナミ

お問合せ

宮崎県立芸術劇場
MIYAZAKI PREFECTURAL ARTS CENTER

〒880-8557 宮崎市船塚 3-210
https://miyazaki-ac.jp/

TEL.0985-28-3208 FAX.0985-20-6670

Twitter and facebook 随時更新中!「フォロー」と「いいね!」お待ちしております